



長老の静かな物語

Muhammad Asytar Arshad Mat Arif





長者は静かな湿地の真ん中に立っています。周りには穏やかな水と緑の草が生い茂り、静かで平和な雰囲気です。



長老は目を閉じ、そっと風の音に耳を傾けています。彼は湿地の秘密を理解しようとしています。



小さなカエルが長者の足元に近づき、彼を見上げています。長者は静かにカエルを見つめ返します。



長老はゆっくりと首を傾げ、カエルに挨拶をします。カエルは嬉しそうに飛び跳ねます。



太陽が沈み始め、湿地はオレンジ色に染まります。長老は空を見上げ、その美しさに感動しています。



夜が訪れ、星が輝き始めます。長老は静かに夜空を見つめ、宇宙の広大さを感じています。



夢の中で、長者は湿地全体を飛び回っています。彼は自由と平和を感じています。



朝が来ました。長老は新しい一日を迎え、再び静かに湿地に立っています。



小さな鳥が長者の頭にとまり、歌を歌います。
長者は微笑み、鳥の歌に耳を傾けます。



長老は静かに湿地を見守り続けます。彼は湿地の知恵と平和の象徴です。